

にこり

ながさき

ようこそ、笑顔咲く長崎県へ

Nagasaki Discovery Magazine ni-ko-ri

長崎県

時空を 超えるまち 東彼杵

No.
13

Highway 100
Yamanashi



涼しさを 添えて贈る 長崎自慢

包みを開いた瞬間、
その方の心づかいを感じる夏のごあいさつ。
確かな品に涼しさを添えて今年も贈ります。
お中元は長崎県産品。

Nagasaki
Summer
Gift
2012



ギフトカタログは無料
で差し送っています。
お気軽にお問い
合わせください。

長崎県物産館 夏のギフトコーナー

多数のお中元好商品を取り揃えて
皆様のご来店をお待ちしております。

長崎県物産館 8月12日①まで

営業時間
am.9:00~pm.6:00
※7・8月はpm.7:00まで
長崎市大馬路3番1号
(県営バスターミナル2階)



問い合わせ TEL.095-821-6580

注文専用 FAX. (無料) 0120-63-4138

メール bussan@e-nagasaki.com

ネットで長崎名物をお取り寄せ!

詳しくはWebで いいながさき

検索

(社)長崎県物産振興協会

にこり

表紙の4011 イス型花入れ
1~2ページでご紹介した植木屋さんの作品(幅2.2cm、奥
行き6.1cm、高さ19cm)。8月1日(金)~10日(日)に「初夏
の風景展」を開催する予定です。ぜひお越しください。

平成24年5月発行
編集・発行/長崎県広報課 〒850-8570 長崎市江戸町2-13
電話095-885-2021 メール:info@pref.nagasaki.jp
デザイン/ (有)イースワークス 印刷/ (株)インテックス
http://www.pref.nagasaki.jp/koho/plaza/cream/

長崎県

定額購読(無料)
の申込は
こちらから



この印刷物は古紙配合率70%以上の再生紙を使用しています。P270

時空を 超えるまち 東彼杵

ふるさと再発見

さんが笑った。
抱星窯の先には虚空蔵山の山
山口がある。これから山へ登る
のだからと、登り始めると、一
に付いてくたさるという。愛犬
のラナが、格だ。天気は晴れ、
絶好の山登り日和である。

虚 虚空蔵山のふもとにある、
東彼杵町の静かな山里。
川んぼと川と葉の花、その中に
民家がほつりほつり。ただそれ
だけの風景が心を穏やかにして
くれる。
「抱星窯」という小さなプレ
トを見つけた。こんな場所に窯
元があるとは驚きだ。小玉健英
さんと恭子さんご夫妻は、今か
ら二十八年間、「新窯での作品
づくりに取り組みたい」という
二人の夢を叶えるため、都会か
ら人家の少ないこの場所に移住
してきたという。展示室にはお
二人の作品が飾られていた。上
品なラインの湯呑み、思わず微
笑んでしまうギターを弾くうさ
ぎの輪挿し。どの作品もやさ
しさと温もりにあふれていて、
作り手自身が楽しんでいるのが
伝わってくる。
すっかり東彼杵の人になった
お二人は「不便なようで、便利
なのが東彼杵」だという。高速
道路を使えば、長岡や徳や福岡
佐賀から意外と近く、いろんな
人に足を運んでもらえる。そし
て、どこへでもすぐに打ける場
所でありながら、こんなにも美
しい自然が残っている。「ねっ、
いいところでしょう」と恭子

自然と好きなものに囲まれて暮ら
す小玉さんご夫妻。静かな工房
には、お二人の人格と作品に惹か
れて、多くの人が訪ねてくる。

抱星窯
東彼杵町川内町1591
TEL. 0967-45-1456

抱星窯 抱星窯

弘 法大師が修行を積んだとされる虚空蔵山は、古くから人々の信仰の対象であった。山頂には虚空蔵大菩薩が祀られており、参拝する人も多い。

今回は、二十一年間にわたり虚空蔵山の管理をしている山口政治さんに案内をお願いした。月に数度山頂まで登り、祠の水やシバを替え、掃除をし、お参りをするという山口さん。なんと御年七十四歳の山守である。

登山口から山頂までは約一時間。そのくらいなら大したことないと思っていたが、標高六百八メートルの高さを一時間で登るのだから、山道はかなり急だ。日頃の運動不足もたたり、登り始めてすぐに息が上がり出した。それでも、やはり山はいい。冷たく澄んだ空気と川のせせらぎ、鳥のさえずりとキラキラと光る木漏れ日。山の息吹を体全体で感じる事ができる。

山道を登りながら山口さんに話を聞いた。山頂の祠は代々、山のふもとにある川内郷の人が守ってきたという。山口さんも二十年前に地域の人に頼まれて以来、この役目を果たしてきた。報酬があるわけではない。さほ

うも誰にも分らない。しかし、山口さんは長年、彼杵川の清流で利用の水を汲み、山頂まで登り続けてきた。「自分のためではなく、他人のためだからできる」。さらりと放った言葉にすべての答えがあった。

子どもの頃から登ってきた山。山守となつてからは、多いときには一日に二度登る日もあるというだけあって山口さんの足取りは軽い。足が重くなり始めた私を振り返り、自分は全く平気だとニコニコ笑う。そして滑りそうな岩場も、手すり代わりのチェーンがある座のような斜面も、ひよいひよい登って行く。

虚空蔵山は川棚町や佐賀県嬉野町にも登山口がある。山頂付近で、それらから登ってきた人たちが出会った。驚いたのは、遠方からの登山客が多いこと。唐津や久留米、神戸からという人もいた。山口さんは、こうした山での出会いも楽しみのひとつだという。「どこからですか。」から始まる会話は、まさに一期一会。山を下つて来た人から「頂上はもうすぐですよ」と励まされ、一気に元気になった。

虚空蔵山とともに生きてきた山口さん。山のすべてを知り尽くしているが、どこまでも謙虚な言葉に、人情が溢れていた。春は新緑、秋は紅葉もきれいだという。

時空を
超える
まち①

Higashimurayama Town



一步、また一步。
人は祈りながら
この道を登る。

神様が
いる山

山口さんによれば、山頂までの道は、昔に比べると随分整備されたとのこと。しかし、決してラクな道のりではない。山口さんと小宮さんの愛犬シオだけが、元気いっぱいである。



清々しい気持ちの その後に 心の静寂が訪れる。

ようやく山頂に着いた。ここからの景色は、想像以上の絶景である。紺碧の大村湾と山々の美しい稜線、そして人々の暮らしが営まれている町並み。三百六十度の大パノラマは、登った人にだけ与えられる貴重な美だ。

山口さんは「虚空蔵山は何度登ってもいい山だ」と言う。しかしそれは、素晴らしい景色に出会えるからだけではないだろう。自然に抱かれ、祠の前で手

を合わせるとき、人は素直になるものだ。たとえ一瞬でも、清らかな心を手に入れることができれば、山に登ったかいは充分にある。虚空蔵山は、信仰の山なのである。

毎年九月二十三日には「虚空蔵彼岸まつり」が開催されている。この日は県外からも多くの人が集まり、川内地区では夜が明けぬ暗いうちから皆で山頂まで登り、日の出を拝むという。神事も執り行われ、地域の人た

この日は、地域の人々にとって特別な日だったのである。

山口さんはたくさんの人に虚空蔵山に登ってほしいと話す。「虚空蔵山にお参りして子どもを授かったという人もいますよ。そういう方からお礼を言われると本当に嬉しいですね」。供えられたシバが青々としている。聞けば、山口さんは一昨日もお参りに来たのだという。神様は、山守の心の中にいた。

ちは登山客をもてなす。このまつの準備も山口さんの大事な仕事だ。代々の山守に託されるという「養銭帳」を見せていただいた。昭和八年九月二十三日に始まる養銭帳には養銭の額（蔵入）と、おまつりの時に催される宴会で購入したもの（蔵出）が細かく書かれてある。蔵出の欄に「酒六升」「サト―」「スルメ」などと共に「鯨」とあるのが、いかにも東彼岸らしい。昔から



「あつちが嶺野、そつちがハウステンボス」と、山頂からの景色を説明していたのは記念撮影。90年分の記録が書き込まれているこの「養銭帳」は地域の歴史そのものである。

時空を
超える
まち①

Mitsuru Sakabe

虚空蔵山

砂糖瓶



江戸時代、長崎街道沿いの宿場町には、多くの人やものが行き交っていた。中でも、港の機能があった彼杵宿には、大名や幕府の役人が宿泊する本陣が置かれたこともあり、最盛期には約三百軒もの商家が軒を連ねるなど、その賑わいは格別だったようだ。江戸へ向かうオランダ商館長や、夢を抱き長崎を目指す若者たちは皆、ここを通った。まさに人との、情報と文化が交差するまちであった。彼杵宿周辺には、その頃の面影を残すいくつかの場所がある。特に元禄年間に築かれた彼杵港は、シーボルトが江戸参府の際、川原慶賀に描かせた風景とほぼ変わらない姿で今もそこにある。街道沿いにある町田商店で「砂糖瓶」という珍しいものを見つけた。これはお葬式の後、初七日から四十九日の間に親族や知人らがお供えするもので、街道

沿いの町で見られる風習だという。長崎街道は砂糖を運んだ道であることから「シュガーロード」とも呼ばれている。亡くなった人に対する精一杯の想いを、当時貴重だった砂糖で表すことができたのも、シュガーロード沿いのまちだからこそのだろう。町田きよみさんは、慣れた手つきで瓶に角砂糖を詰めていく。デザインは店ごとに異なるそう

だが、その店も随分と減り、「この辺りではうち一軒だけ」らしい。江戸時代から続く伝統は風前の灯。それでも「できる限り続けたいですね」と、町田さんの言葉は力強い。東彼杵といえど、鯨を思い浮かべる人も多いだろう。江戸、明治、大正を通じて、彼杵は西海捕鯨の中継地、鯨肉取引の中心地として栄えた。五島近海で捕れた鯨はこの地で陸揚げされ、九州各地に運ばれたのである。そうした歴史から、この辺りでは今も鯨の食文化が色濃く残っている。まちを歩いていると「くじら」と書かれたのぼりを立てた店に何軒も出会う。

今も月に一度鯨の入札を行い、小売りも行っているという「彼杵鯨肉」を訪れた。鯨肉は、何気なく置かれた古いアイスクリーム用の冷蔵庫の中にあった。そこには「高級感」は全く漂っておらず、「生活の一部」のような雰囲気だけがかった。「湯引きを酢味噌や醤油で食べるのが好きですね。春はジャガイモや、山菜を鯨で煮込むといいですね」と社長の板谷康司さん。板谷さんは商業捕鯨が

一見、お祝いの品のように華やかな砂糖瓶は、故人を偲ぶ気持ちを表したもので、砂糖瓶の作り方は「森父に教えてもらった」と語る町田きよみさん。受け継がれていたのは、技術と心である。豊後県ある村の「彼杵鯨肉」。入札会の際は買内の加工業者があとこちから足を運んでやって来るという。冷蔵庫の中には、高級なものから、「今日の晩ごはん」的なものまで様々な部位の鯨肉があった。さすがは、鯨のまちである。

町田商店 東彼杵町蔵本館1253
TEL.0957-48-0009
彼杵鯨肉 東彼杵町蔵本館1777-1
TEL.0957-48-0023
彼杵鯨肉 魚屋

江戸時代へタイムトリップ 長崎街道

中止され、鯨肉が高級品になってしまったことを残念に思いますが、これからも鯨の食文化を伝えていきたいと話す。「一人でもお客様がいる限り辞めません」。ここにも伝統を守る人がいた。



堂宮神社一の鳥居の向こうには虚空蔵山が見える。

平戸へ通じる平戸街道の起点となった惣太橋。

シーボルトが描かせた船にもある八坂神社。

春やかな流れの彼杵川。

元禄船倉庫跡。石段で繋がれた舟の乗り降り場。

彼杵宿の本陣跡には現在、彼杵神社がある。

東

そのぎインターチェンジを降りて国道二〇五号を走っていると、左手にこんもりとした丘のようなものが見えてくる。一見、子どもたちの遊び場のように見えるが、実は古墳である。高速道路を降りてすぐのこんな街の真ん中に古墳があるわけがない、きっと「つくりもの」だと思っている人も多いのではないだろうか。しかし、これは真正正銘の前方後円墳である。

ひさご塚古墳は、昭和二十五年に県の史跡に指定され、過去二回に渡り調査が行われている。その結果、古墳が造られたのは五世紀前半で、当時の規模は全長五十八・八メートルと判明した。もちろん、これは県内最大級である。

当時、大村湾周辺地域で、海陸交通の中心であった彼村には、この地域を治める代々の首長がいたという。東彼村町内には、その代々の首長の古墳がひさご塚古墳以外にも、記録に残っているものだけで、五基ある。大きな古墳の存在は今から約千五百年前、この地が大村湾沿いの政治の中心だったことを伝える何よりの証拠だ。

時空を
超える
まち③
Higashimura
Town

千五百年前の 謎が眠る ひさご塚古墳

古墳は土の中にすっかり
埋れ込んでいて、よく
見れば、その形はどことなく
神秘的な感じがする。
ここは、1500年前と現在が
見事に交差している場所だ。

ひさご塚古墳には二基の石室が見つかっているが、ここには面白い特徴が見られるという。前方後円墳は、ヤマトの大王を頂点に全国的規模の首長連合が成立して築造されたといわれている。このことからひさご塚古墳も、ヤマト政権の影響を受けていることがうかがえる。しかしながら、埋葬施設である石室は、大村湾岸で弥生時代から見られる箱式の石棺を大型化したものが採用されている。また一方では、竪穴式の石室に横口を設けるという、当時北部九州で流行していた大陸由来の最新技術も導入している。つまり石室は、古いものと流行の最先端のものが融合しているということだ。この古墳を造った豪族たちは保守的な面と、外来の技術を取り入れる先進的な面の両方をあわせ持っていたと考えられている。

地元ではずっと昔から、この墓は神功皇后の三韓征伐の時に従軍した「武内宿禰の家来（けらい）の墓」だという言い伝えがあった。しかし武内宿禰は伝説上の人物。この墓には一体、誰が眠っているのか……。それは、今もまだ分かっていない。



時空を
超える
まち③

ひとつの石から 生まれる

底知れぬロマン。



発

見された石室は、残念ながらすでに盗掘を受け、人骨はなく、大半が破壊されていたという。しかし、いくつかの副葬品が出土している。古墳に隣接している「東彼杵町歴史民俗資料館」ではそれらが展示されており、いつでも見学することができる。

出土した副葬品の中でも目を惹いたのが、小さな勾玉が付いたブールの首飾りだ。三百点出土したという小玉は濃い色や淡い色、その一つ一つが異なる青色をしており、現代でも通用するデザインにもかかわらず、どこか神秘的である。権力の象徴だったという国産品の「銅鏡」は、かなり損傷が激しいものの、当時の技術の高さがうかがえる。



石室から出土した「銅鏡」は直径7.4cm。鍔工は消えかかっているが、軸がデザインされているという。このほかにも、鉄剣や刀子と呼ばれる鉄製の小刀が出土しており、展示されている。

る。千五百年も前に埋葬された品がこうして目の前にある——まさに奇跡である。彼らはどんな暮らしを営み、何を考えていたのだろうか。

館内には、旧石器時代から現代にいたるまで、東彼杵町の歴史が分かりやすく展示されている。その中には「彼杵」の名の由来についても紹介されていた。肥前風土記には「景行天皇がこの国を『具足王國』(珠の豊富に取れる国)と名付けよと仰されたのがなまづ、彼杵郡になった」と記されているそうだ。彼杵は、大村湾の真珠から名付けられた美しい地名だったのである。

資料館のそばに「道の駅」がある。足運んだ。平日にも関わらず、駐車場は混み合い、観光客だけでなく、地元の人たちも多く訪れているようだ。

人たちが多く訪れているようだ。名物「茶ちゃ焼」をいただいた。そのぎ茶入りのあんこがたっぷりと入った、ご当地ならではの甘味である。

東彼杵のまちはどこを歩いても歴史に当たる。この山に弘法大師も登ったのだろうか、この島屋をシーボルトもくぐったのだろうか……と思いをめぐらす。旅は実に楽しい。人が行き交い、幾度も繁栄を極めたまちは、今も私たちをその時代へと誘ってくれる。



茶ちゃ焼でまーとー。セルフサービスのお茶もおいしい。

東彼杵町歴史民俗資料館
東彼杵町彼杵宿430-5
TEL.0957-46-1632

東彼杵町歴史民俗資料館 検索

道の駅 彼杵の丘
東彼杵町彼杵宿747-2
TEL.0957-49-3311

そ
の
ぎ
茶



日本で初めて映画を輸入した女性貿易商

大野原高野の裾野に広がる大山製茶園を訪ねた。

この辺りは霧が発生しやすく、お茶の生産に適しているそう。そうはいっても、栽培は自然任せにはできない。大山英子さんは、栽培のこだわりは環境にも配慮した土づくりから始まると話す。畑に何度も足を運び、その日その日の葉の状態を見極め、天候と相談しながら肥料をやるタイミングを図る。摘み取った後も、雨が少ない年は葉が硬いため、蒸気の量で調整するなど、葉の状態に合わせた加工を行う。一つ一つの工程は丁寧に、丁寧に進められる。大山さんはお茶がそうした努力の結晶だからこそ「作るだけでなく、おいしさを伝えたい」と、六年前に日本茶のインストラクターの資格を取得した。資格取得をきっかけに、茶工場のそばに「茶飲み処茶楽」を造った。ここで、訪れる人にお茶の美味しい淹れ方を教えているという。大山さんが淹れてくださったお茶はまるやかな後味で、「ふくよか」という言葉がぴったりの一杯だった。家で飲んでいるお茶と

心を込めて作り 心を込めて伝える。

Sonogi
cha



「お茶は少しずつ注ぐのも大事なポイント。時間をかける、そしてその時間を惜しむことも大切ですね」と大山さん。一杯のお茶には人生が詰まっている。

大山製茶園
東神奈川町中尾崎1556
TEL. 0907-48-1348

大山製茶園 検索
※茶楽での「お茶の淹れ方」は要予約。

大山さん一家

大山さんは四世茶匠という大家茶業の栽培・加工業は、ご主人と奥さん、そして二子と三子、計五人で一日中やっています。大山さんの作るお茶は、茶楽で淹れます。



高原の茶シリーズ

茶葉の品種や加工の方法、淹れ方を工夫して、いろいろなお茶の淹れ方を提供しています。高原の茶シリーズは、お茶の淹れ方を工夫して、淹れ方を工夫して淹れます。



はまるで別物だ。大山さんは、同じ茶葉でも淹れ方次第でおいしい味になるという。お湯の温度は七十度、茶葉一人分はティースプーン一杯。急須に蓋をしたら一分待つ。つまり、ふくよかな味は「お湯の温度、茶葉の量、待ち時間」で決まる。「その茶は甘みと渋みと苦み、すべてが揃ったまろやかさが特徴です。何煎でもおいしくいただけるのが玉緑茶の魅力ですね」。年々、日本人のお茶はなれが進んでいるのをご存知だろうか。近年は「お茶はペットボトルで飲むもの」と思っている子どもや、急須のない家庭が増えているそう。大山さんは昨年、茶育指導士の資格も取得し、子どもたちにお茶の淹れ方を伝えることも始めた。日本人の文化が失われつつある今、生産地だからこそできる取り組みが期待されている。

お 茶の世界に新風を巻き起こしている若者たちがいる。

お茶の生産者組織「ながさき茶ネットワーク」で結成された若手プロジェクトチームが「世界緑茶コンテスト」2011年に出品した商品が見事、最高金賞とパッケージ大賞の二冠を受賞した。商品名は「COMPARISON(比較)」。洗練されたパッケージも印象的だが、その名の通り「浅蒸し・深蒸し・かぶせ・ろじ」と四種類の茶葉を比較することで、その違いを楽しめるようになっていく点が新しい。

商品を手掛けた四名の若者は、それぞれが茶園を経営。両親の代から浅蒸し、深蒸し、かぶせ、ろじと二軒二軒特徴のあるお茶づくりを行ってきた。コンテストに出品するにあたり、この点を活かしたいと考え、栽培の合間を縫い、企画、コンセプト、デザインなどを何度も話し合ったという。短い時間ながら手を抜かなかったことが功を奏し、初出品にして最高の栄誉を手にすることができた。リーダーを務める東坂幸一さんは、「お

茶は産地別のブレンド商品を販売することが多いが、消費者にとってはそれぞれの製法を知るほうが味の違いが分かりやすいのではないかと話す。「COMPARISON」はお茶の違いやおいしさを知ってもらうために「入門編」として作ったという。次に目指すは中級編、上級編。しかし彼らはこう言う。「そのためには自分たちの栽培や製造の技術を向上させなければならぬ」。

まるでロックミュージシャンのような風貌の若者たち。正直、ちょっと近寄りたがたい雰囲気があるのも否めない。しかし、それは一瞬だった。「お茶は飲んでみるまで分からない。だからこそ、一生懸命にやっていたことが報われる新茶の時期が一番うれしい」「今年は充分に雨が降ったし、冬も寒かった。おいしいお茶ができそう。楽しみですね」。そうやって笑う彼らはどこか可愛らしい。今、お茶のまちで革命が起きている。

左から「東坂幸一さん、前田寛幸さん、山口孝幸さん、大塚真樹さん」。



Sono
cha

COMPARISON
商品はCDサイズのパッケージに入っている。それぞれに「浅蒸し・深蒸し」とともに「ろじ・かぶせ」の茶葉の合間に「お茶の淹れ方」のイラストがあり、「おいしい淹れ方」を記したカードが付いているのも特徴だ。
98g(8g×3袋×4セット)
¥1,150円

お茶のまちの革命児たち

ながさき茶ネットワーク 東海村町緑茶園425
TEL 0957-48-1701

ながさき茶ネットワーク 編集

アイデア募集!

長崎県の魅力を一人でも多くの方にお届けするために、本誌やにこりホームページの認知度を上げるアイデアを募集します。無料で本誌を設置していただける場所やリンクを張っていただけるホームページなどご存知の場合は、併せてお教えてください。アイデアや情報をお寄せいただいた方の中から、抽選で、本誌でご紹介した東彼杵町の特産品をプレゼントさせていただきます。

締切:7月31日(火) ※消印有効

応募方法

郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレス、アンケートの回答、希望するプレゼント名を必ず記入し(メールアドレスは任意)、ハガキまたは簡易電子申請システムで応募。※お一人につき、1応募まで。

ハガキ

〒850-8570(住所不変)
長崎県佐賀県「ながさきにこり」係

簡易電子申請システム

パソコン・WEBで
長崎県 簡易電子申請 検索
携帯QRコード

アンケート

●本県(東彼杵町)の魅力が伝わりましたか。(必須)

- ☐よく伝わった ☐まあまあ伝わった
☐どちらともいえない
☐あまり伝わらなかった ☐伝わらなかった

●本誌やにこりホームページの認知度を上げるためのアイデアをお教えてください。(必須)

●無料で本誌を設置していただける場所やリンクを張っていただけるホームページなどをご存知の場合は、お教えてください。(任意)

注意事項

ご応募いただいたアイデアや情報について詳細を確認させていただくため、電話またはメールにてご連絡をさせていただく場合がございますので、ご了承ください。

プレゼント商品

A イス型花入れ 5名様

写真は表紙、商品説明は裏表紙をご覧ください。

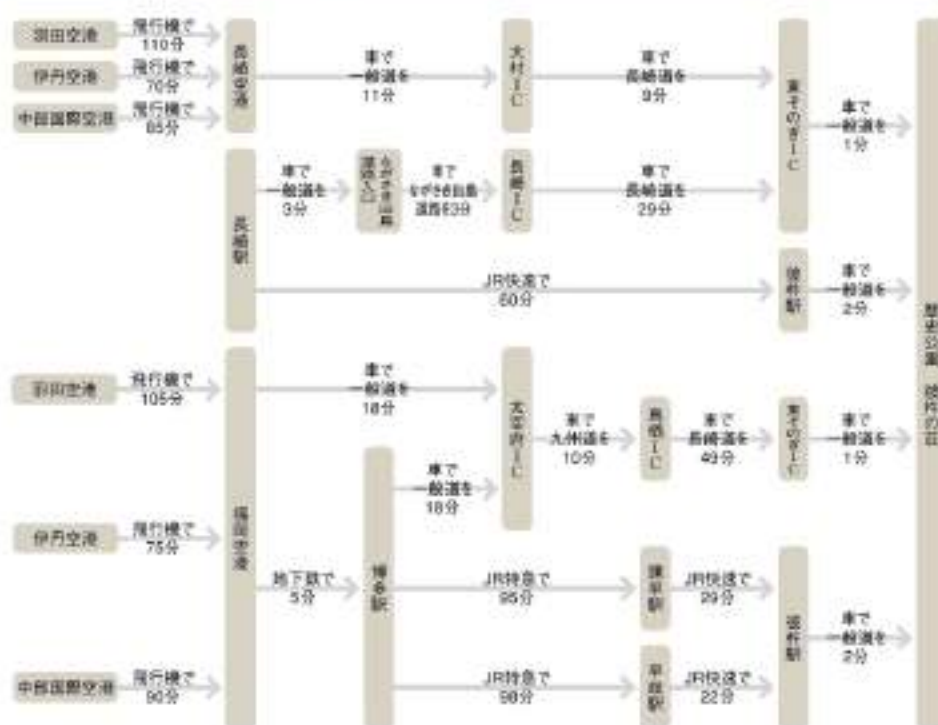
B そのぎ茶セット(炒・香・和) 10名様

写真や商品説明は、16ページをご覧ください。

当選/8月上旬抽選・商品発送予定。当選は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



東彼杵へのアクセス



語りかける風景

7



くじらのお昼ごはん

虚空蔵山から下りてくると、抱星寮の葛子さんがお昼ごはんを用意して待っていてくださった。鯨のおにぎり、鯨のサラダ、温かいそばだんご汁、こぶ高菜のおひたし。手作りのお皿に盛り付けられた心づくしの料理は、クタクタになった体と心に染み込んだ。春の陽射しが降り注ぐ中でいたただくお昼ごはんは、まるでピクニックのよう。山守の山口さんがママシ捕りの名人であること、小玉さんのお宅の猫が「えんがわ」「あんばん」「のり」とユニークな名前ばかりであること。おしゃべりはどこまでも続く。

突然、山口さんが「どんな人たちが取材に来るのか心配で、昨晩は眠れなかった」と話し出した。大笑いして「こんなのに来て、すみませんでした」と言うと、「あ、今日は楽しかった」と満面の笑み。ひとつも嘘がないその言葉に嬉しくなった。山口さん、楽しかったのは私も同じです。また一緒に神様のいる山へ登りましょう。



感謝、感謝のお昼ごはん。
うれしい、うちあけ話。
至福とは、このことなり。

EVENTS

7月～8月のイベント情報

ながさき
みなとまつり

長崎の夏を代表する一大イベントとして定着しているお祭り。ステージイベントや飲食出店、打上花火(2日間で8000発)など、子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさんです。



期 間/7月28日(土)～29日(日)(予定)
会 場/長崎港・長崎水辺の森公園(長崎市)
お問合せ先/TEL.095-822-0111 ながさきみなとまつり実行委員会事務局

厳原港まつり
対馬アリラン祭

江戸時代に対馬藩が大きな役割を果たしていた国家的イベント「朝鮮通信使」。その行列の再現をメインに、演芸・花火大会などが行われます。夏の日韓交流イベントとしても定着しています。



期 間/8月4日(土)～5日(日)
会 場/対馬市厳原町
お問合せ先/TEL.0980-52-5045 厳原港まつり対馬アリラン祭振興会

大村市市制施行70周年記念事業
おおむら夏越まつり

JR大村駅広場の提灯大やぐらの点灯を会頭に、奉納太鼓・郷土芸能・夏越総踊りなどイベントが盛りだくさん。今年は市制70周年を記念して郡三踊りが大々的に披露されます。8月1日(水)には盛大な「花火大会」も。



期 間/8月2日(木)～3日(金)
会 場/JR大村駅広場・夏越通り
お問合せ先/TEL.0957-52-2580 おおむら夏越まつり協賛会

島原
水まつり

島原の豊かな湧き水に感謝し、水と緑のまちづくりを目指すまつり。幻想的な竹灯籠が、武家屋敷水路をはじめ市内湧水スポットで、流れる清流と古きまちなみを灯します。



期 間/8月3日(金)～6日(月)(予定)
会 場/島原市内
お問合せ先/TEL.0957-62-3621 水まつり実行委員会(島原青年会議所内)

させば
シーサイドフェスティバル

佐世保港から打ち上げられる、九州最大級の花火3000発は必見。シーフェスならではのマリニイベントも盛りだくさんです。



期 間/8月4日(土)～5日(日)
会 場/佐世保駅みなと口広場
お問合せ先/TEL.0956-46-6855 させばシーサイドフェスティバル実行委員会

五島
タヤけマラソン

日本列島で最後に沈む夕陽を背に、夏の西海国立公園五島福江島を走る大人気の大会。マラソンのあとは五島牛の試食会や星空コンサートも開催。島内外から多数のランナーが参加します。



期 間/8月25日(土) 会 場/五島市
お問合せ先/TEL.0958-72-2963
五島市観光協会内 五島列島タヤけマラソン係

その他の県内イベント情報は [ながさき旅ネット](#) [検索](#)

TOPICS

トピックス

長崎和牛の魅力をPR

～“和牛の祭典”200日前イベント開催～



ゆるキャラと盛り上がる子どもたち



大会マスコット「かさべこくん」

第10回全国和牛能力共進会
和牛の祭典
in ながさき

第10回全国和牛能力共進会長崎県実行委員会

TEL.095-894-3807

[第10回全国和牛能力共進会](#) [検索](#)

10月25日～29日に佐世保市のハウステンボスと島原市の島原復興アリーナを会場に開かれる第10回全国和牛能力共進会は、5年に1度の和牛の祭典です。開催200日前に当たる4月8日、長崎市内でカウントダウンイベントがありました。長崎和牛を使った弁当や家庭料理のコンテストをはじめ、大会の魅力や生産者の取組を紹介するさまざまなイベントが行われ、大会マスコット「かさべこくん」など県内のゆるキャラも勢揃いして会場は大盛り上がり。セレモニーに出席した田中副知事(大会実行委員長)は、「長崎和牛とともに、県内の観光や文化の魅力も知ってもらいたい」と来場を呼びかけました。

歴史にふれる楽しみ！
体感する博物館へ

～長崎歴史文化博物館リニューアルオープン～

長崎歴史文化博物館の常設展示室(歴史文化展示ゾーン)をリニューアルし、3月31日、中村知事出席のもと記念式典が行われました。

幕末・維新期の展示を大幅に充実し、「坂本龍馬と勝海舟」や「天正遣欧使節」など、長崎の歴史ドラマが大型スクリーンに流れる大迫力の映像コーナーを新設。「見て、聴いて、触れて、においを嗅いで、組み立てて」五感を使った体験コーナーは子供から大人まで楽しく歴史を学ぶきっかけ作りとなります。

新しく生まれ変わった博物館をぜひ体感してください。

長崎歴史文化博物館 長崎市立山1-1-1 TEL.095-818-8306

[長崎歴史文化博物館](#) [検索](#)上/大迫力の映像コーナー
左/記念式典で祝辞を述べる
中村知事